

第66号

平成31年2月19日

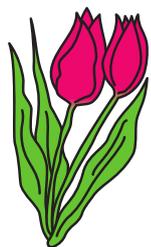
編集発行

足立区青少年委員会
広報部

足立区教育委員会
青少年課

<http://adachi-seishounen.jp>

足立区青少年委員会だより



区の花:チューリップ

あだち

平成31年テーマ

遙

～ 一步踏み出す キミの姿 ～



青少年委員会は「成人の日の集い」を応援しています。

青少年委員にあこがれて



足立区青少年委員会副会長

松崎 顕治

私が小・中学校でPTA活動をさせていた頃、PTA顧問の方や青少年委員の皆さんから適切なアドバイスをいただく事で冷静な判断を導き出すことができ、落ち着いて活動することができました。特に青少年委員の皆さんからのアドバイスは、他の地域との違い等も含めてのもので、大変興味深いものでした。

またブロック内の青少年委員の皆さんに様々な知識や経験から溢れ出る風格を感じました。そしていつかは自分自身も見識を積んで青少年委員に推薦されたいと思うようになりました。

PTA活動終了後は、『開かれた学校づくり協議会』での活動を中心に地域での青少年健全育成活動に関わっていたことで、数年後青少年委員に推薦されるお話をいただいた時は、大変嬉しかった事を今でも思い出します。

青少年委員の職務は考えていた以上に『活動の時間が取れない』『積極的な行動が必要』『情報収集力が必要』等々に気付き不安になりましたが、ブロック内での先輩委員の指導や、青少年委員会での意見交換は私にとって何時も大変良い時間となり、不安は徐々に解消されました。

これからも初心を忘れずいただいた機会を大切に、まずは担当校のお役にたてるように地域での活動に勤しみ、足立の子供たちがのびのびとした育ちを実感できるように、青少年委員としての向上心をもって職責を果たしたいと考えています。

日帰り研修

広報部 佐宗 良哉

九月二十二日曇天の空模様の中、一路日光を目指しバスにて出発。

車中では、参加者全員で自己紹介をした後、ビデオでソーシャルネットワークにおける個人画像の流出によるリスクの研修を行いました。

混雑もありましたが足立区日光林間学園に無事到着。施設内を小坂橋支配人に案内をしていただき体育館や宿泊部屋、バリアフリー対応の浴場、大食堂を見学しました。その食堂には初代日光林間学園の建物の写真が飾ってあり足立区出身の委員の方々は懐かしそうに見入って当時の話に花が咲いており、区外出身の私は羨ましい限りでした。



ロビーの壁画をバックに写真をパシャリ

東照宮は日光観光の目玉であり、当日は土曜日でしたが修学旅行生や国内外の観光客でごった返していました。専門のガイドさんにそれぞれの建物の由来などをひとつひとつ丁寧な解説していただき、中々も感心した事は日光は年間二百日くらい雨が降り湿度が高く建物の改修時に木に漆を幾重にも塗って湿気を防いでも五、六年しか色彩が持たず、そのため絶えず東照宮内のどこかの建物の改修をしている事です。この日も本殿の改修中で、新しい元号の「〇〇の大改修」と呼ばれるそうです。



国宝「陽明門」前。案内は赤いジャケットを着たガイドさん

昼食の精進料理をいただいた後大谷資料館に向かいました。正直外から見た建屋はたいした事は無く期待していませんでしたが、その建屋は入り口に過ぎず石切り場となった地下に降り立つと、そこは正に地下迷宮でした。内部は暗く広大で本当に迷子になりました。ここは多くの映画、ドラマ、ミュージック

クビデオなどの撮影場所にも使われ、その様子を写真展示して見学できました。終始退屈することなく見学できました。

最後の目的地の大谷寺は洞窟を利用して作られており、洞窟から直接掘り出した千手観音がとても印象に残りました。当時は金色に輝いていたそうです。

委員同士の懇親も深まり充実した一日を過ごす事ができたので次回も参加したいと思いました。

グランファミリア

広報部 木島 俊江

十月三十日、梅島駅近くのNPO法人グランファミリア（鈴木圭子代表）の見学に行ってきました。

グランファミリアとは「大家族」という意味があり、乳幼児連れ&マタニティー支援、高齢



熱く丁寧に説明して下さった米重さん

1階 認可保育園
2階 Ohana ダイニング
学童保育室・子育てパレット
アイサポート(視覚障がい者デイスーパー等)
日中保護(障がい者の方の居場所づくり)

者や児童の支援、視覚障がい者や知的障がい者支援の施設です。全ての方が安心して暮らせる地域社会を目指し、

- ・地域カフェなどの地域交流
- ・災害時に孤立しない為の地域防災
- ・対象者に寄り添った地域福祉の活動を行っています。

建物は明るく、車椅子でも自由に通れる広々とした廊下やエレベーター、多目的トイレ、床暖房などが設置され、人に優しい設計となっていました。

二階にあるOhanaダイニングは「一杯のスープで繋がる地域のプラットホームカフェ」がモットーで、「栄養満点のスープで赤ちゃんから高齢者まで、心も体も温まってもらいたい。食でつながり緩やかな地域のネットワークを作っていきたい」との事でした。

この日は副代表であり元青少年委員の米重哲彦さんより説明をいただきました。「自分が将来、車椅子生活になったら、また、目が不自由になったらと考えた時、誰でも来られる場所を作りたかった」との言葉が印象に残りました。

身近なプラスチック

出前授業

第十一ブロック 酒井廣

伊興中学校の一学年を対象に、「日本プラスチック食品容器工業会」協力の下、身近なプラスチックである食品容器に関する出前授業を実施しました。

五名の講師より、動画やパネルを使って、原油からプラスチックが出来るまでの工程などを教えていただきました。また、意外ですがプラスチック容器に使われている石油は非常に少ないことや、プラスチックが色々な方法で再利用されていることを学びました。



動画、パネルを使った勉強風景

さらに「とうもろこし」から出来たバイオマスプラスチックのことや、原油↓精油↓ペレット↓成型などの工程も現物を見る事ができ、とても理解が深まったと思います。真空成型機によるプラスチック成

型を体験する時は、大変盛り上がりました。

今回の勉強と経験は間違いなく普段の授業では教われない知識が得られたと思います。



プラスチック真空成型の体験

あだちドリームプロジェクト2018

夢への懸け橋

第十ブロック 吉田ヨシ子

十月十三日、保木間小学校において五、六年生を対象に、「あだちドリームプロジェクト」が開催されました。

このイベントの目的は、多種多様な職業体験を通じて子供たちがまだ気付いていない自分の



テレビ局体験

主催はあだちドリームプロジェクト実行委員会。東京青年会議所足立区委員会の協力の下、毎年区内で開催され、今年で6回目。足立区青少年委員会も後援をしています。

可能性を見つけることです。

お仕事体験では足立区内外の企業・商店に協力を仰ぎ、テレビ局や三味線を弾く伝統芸能、弁護士など七種の職業から子供たちが希望する二種を体験しました。

プロのサッカー選手やボクサーに直接指導を受けたり、和菓子やお花のアレンジメントを作りながら「どうして職人になったのか」「なぜこの職業を選んだのか」などのきっかけのお話や仕事をする上での苦労をしたことなども聞くことができました。

イベントの最後には参加者全員で名刺交換をおこないました。職人さんや企業の方々とも名刺を交換しながら、楽しそうに笑顔で会話をする子供たちの姿がとても印象的でした。

今回のイベントで、夢の実現の為にどのような勉強や努力が必要なのかを知るとも良い機会になったことでしょう。



最後に全員で記念撮影

地域環境調査

第四ブロック 遊馬正子

全国青少年健全育成強調月間の活動の一つとして、足立区青少年委員会各ブロックにおいて、雑誌ビデオ等の自動販売機設置・ゲームセンター(店舗型)・ビデオレンタル店の実態状況の調査が行われました。

図書やDVD等の販売店・レンタル店等の事業者に対して、有害図書・ソフトの区分陳列、店員が容易に監視できる場所への配置、子供への販売、貸付けをしないこと等、その状況の調査・点検を実施するものです。

十一月七日、第四ブロックでは梅島駅、西新井駅近辺の調査をしてきました。現在、自動販売機は撤去され、店舗型のゲームセンターもなくなったので、ビデオレンタル店を二店舗調査しました。



西新井駅前から調査開始

成人の日の集い

東京武道館：平成31年1月14日(月・祝)

参加者：4,009人

区内新成人：6,526人

(男性 3,393人 / 女性 3,133人)



実行委員氏名 (五十音順)

横	矢	中	徳	堂	佐	酒	大	市	市	青
川	崎	野	山	本	々	井	川	本	川	木
真	愛	翔		沙	颯	瑞		由	七	雅
奈	佑	太	道	也	太	季	穂	紀	海	陽
美	海			香						



実行委員あいさつ

新成人代表 堂本沙也香

一月十四日に成人式を終え、私たちは見守られていた子供から大人となる節目を迎えました。私たち実行委員は、今年の成人式を大人としての自覚をもつきっかけとしてほしい、そして思いきり楽しんでほしいという思いで、約半年間準備を進めて参りました。

式の当日は、今年のテーマである『遙く一歩踏み出すキミの姿』を表現するかのよう鮮やかに晴れ渡り、会場に入りきれないほどの新成人が遥かな未来に向けて大人としての一歩を踏み出すことができた日となりました。

無事に式を終えられたのは、開催にあたり尽力してくださった近藤やよい区長をはじめ、区役所の方々、地域の皆様の支えのおかげです。心より感謝を申し上げます。

私たち新成人は、足立区で得た経験を活かし、足立区そして日本のより一層の発展に尽力し、輝かしい未来を担う大人になれるよう努力していきます。

新成人の皆さんへ

青少年委員会 副会長 田中実

平成最後の「成人の日の集い」は新しい時代の幕開けにふさわしい華やかで落ち着いた式典となりました。

平成の時代、特にこの二十年は日常のくらしやしくみが大きく変化して、これまでの経験が否定されかねない世の中に、昭和生まれの私にとっては目まぐるしく戸惑うことの多い毎日です。インターネットの普及で情報は氾濫し予測出来なかったことが現実となり、不確実で混沌とした状況に未来を見据えた想像力と決断力が必要とされています。

新成人のみなさんには時代を切り拓く勇氣と希望が溢れています。家族の絆や仲間との友情を大切にして、足立区で生まれ育ったことを誇りに夢の実現に向けて着実に進んで下さい。

「遙く一歩踏み出すキミの姿」はきっと輝いています。



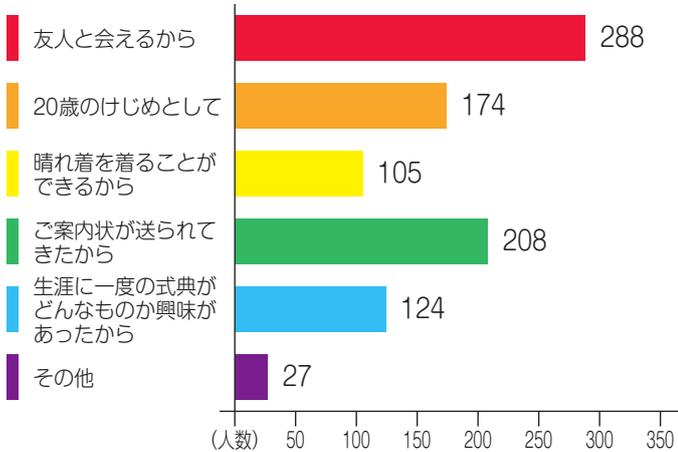
成人の日の集い

アンケート集計結果

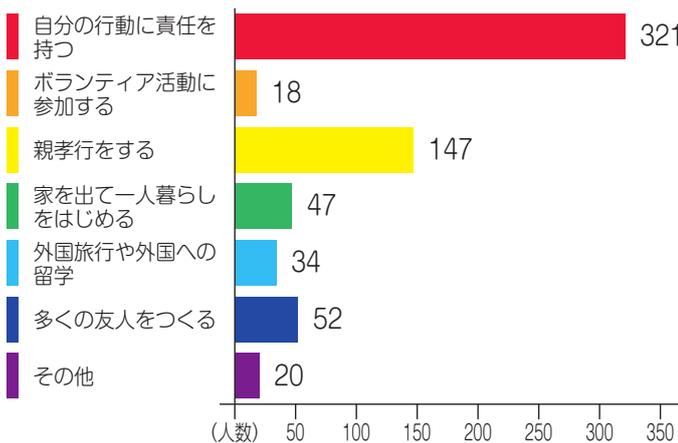
(複数回答あり)

アンケート回答数		職業	人数
男性	251	勤労者(アルバイト含む)	142
女性	254	学生	302
合計	505	その他	8

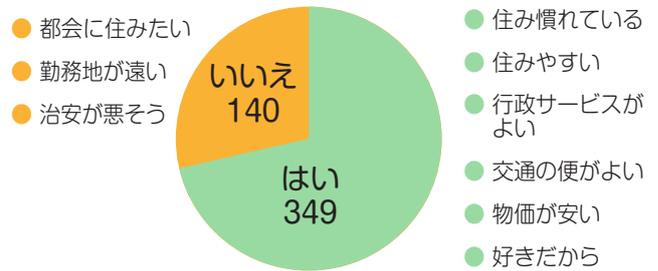
① 成人式に参加された理由は



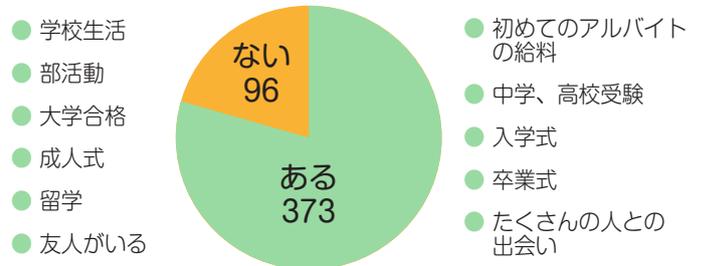
② 20歳の抱負は



③ これからも足立区に住みたいと思いますか



④ 今までの人生で喜び感動など心に残ることはありましたか



⑤ あなたの10年後は何をしていますか

- 仕事をしている (会社員・教員・運転士・作家・社長・実業家・ゲーマー・公務員・料理人・保育士等)
- 専業主婦
- 結婚している
- 夢をかなえている
- 子育て
- 海外生活
- のんびり暮らしている
- 楽しく生活している
- 目標に向かってがんばっている



●● アンケートを実施して ●●

今年は穏やかな晴天に恵まれ、振袖や袴、スーツと着飾った新成人が早くアンケートに協力してくれました。成人式には多くの人が、友人と再会できることを楽しみに参加していました。

④の心に残ることで、学校生活・部活動と多くの回答がある中、家族と過ごしたことや初めての飲酒、東日本大震災を挙げる回答もありました。

⑤の10年後に何をしているかの問いには「仕事をしている」との回答が多くあり、具体的な職業を挙げてくれました。また、結婚している、子育てや夢の実現に頑張っているとの回答もありました。



思い出のソーラン節の演奏など 第十四中学校吹奏楽部による「お祝いコンサート」

アンケートにご協力ありがとうございました

梅島小学校 創立百三十周年
第四ブロック 山本 孝志

十一月十七日、梅島小学校創立百三十年記念式典・祝賀会が行われました。

会場となる体育館には、子供たちが作った様々なものが飾られ、お客様をお迎えしました。

全校児童一人一人が丁寧に着色したガーランドは体育館の天井全体を華やかに覆い、学年ごとにパーツを分けて作ったお誕生日ケーキの装飾物もお祝いの雰囲気を楽しく盛り上げてくれました。また、各テーブルの上には四年生が生け花の先生からご指導を受け、一人一人が生け花にメッセージカードを添えてテーブルの上を彩りました。

式典の前に在校生を代表して六年生が呼びかけや歌を披露し、お客様に感謝の気持ちがお伝え



出来たと思います。式典では、学校長から開校した明治二十二年から三年後の明治二十五年に勝海舟の書による扁額「梅島小

学校」が作られ、今も校長室に掲げられていること、歴史と伝統

を脈々と受け継がれてきた気品や、落ち着きに満ちている。と式辞を述べられました。

近藤やよい区長より、お祝いの言葉に添えて「子育て世帯を孤立させないためには『第三の大人』である地域の方々の一層のご協力をお願い致します」とのメッセージをいただきました。

梅島小マスケット「うめまる」も式典・祝賀会に駆けつけて会場を盛り上げてくれました。祝賀会では足立区の成人式でも公演された「和太鼓グループ彩」を招き、演目に加えサプライズとして現校長先生・前校長先生も登壇、和太鼓の素晴らしさ・

迫力を満喫していただきました。「希望を胸に、笑顔輝く未来へ」梅島小学校、更なる十年へ進みます。



「希望を胸に、笑顔輝く未来へ」梅島小学校、更なる十年へ進みます。



谷中中学校 創立四十周年
第七ブロック 木村 佳代

十一月十七日、心配されていたお天気にも恵まれ、朝から青空の広がる良き日に谷中中学校創立四十周年式典祝賀会が開催されました。

当日は生徒の登校日となり、午後からの開式でした。十年前と比べ生徒数も二倍となり昨今の谷中中学校の変貌を嬉しく思います。

今回は内田実行委員長の「全員参加」というコンセプトに、伊藤副校長プロデュースのもと、学校・地域・保護者とたくさんの方々を巻き込んで開催することができました。

学校からは校長先生をはじめ教職員の方々が記念誌・記念品・式典の全般に関わり、生徒たちは箸入れや、保護者やPTA・OBから寄付された手提げ袋にデザインを行いました。また地域の



域の方々には箸入れや、保護者やPTA・OBから寄付された手提げ袋にデザインを行いました。また地域の

は普段より学校に対する思いをご寄稿賜り、記念誌に掲載しました。

祝賀会ではPTA・OBによる合奏や合唱が披露されました。綾瀬ブロックのPTA会長の方々も合唱に加わり、大きな盛り上がりを見せていました。この様に多くの方々が祝賀会を盛り上げてくださり、成功裏に終わりました。

松岡PTA会長が記念品に中島みゆきの「糸」の歌詞に願いを込めてソーイングセットを選んだそうです。「縦の糸はあなた横の糸は私逢うべき糸に出逢えることを人は仕合わせと呼びます」

また主催者側から「今回は会場の都合で、縮小することになり、お声掛け出来なかった皆様にお詫び申し上げます」とコメントをお預かりしております。

青少年委員として今後益々、谷中中学校生徒の皆さんが活躍をされる事を期待しております。



あだち区民まつりに参加して

広報部 石川 浩司

青少年委員会は、今年も十月二週目の土日に荒川河川敷で開催された「あだち区民まつりAフェスタ」に参加しました。台風二十五号の影響により、土曜日のみの開催となってしまいましたが、当日は快晴のもと、たくさんの方にご来場いただきました。青少年委員会が担当したのは「ミニSL」「一円玉アート」「ウォーターコイン」です。

ミニSLは、鉄道会社のブースなどが出店する「あだち鉄道フェスタ」が行われていたため、運行開始からひっきりなしにお客さんが訪れ、運行終了まで列が途切れることなく、一日で一、五〇〇人が乗車しました。また、JR北千住駅の駅長が登場し、出発進行の掛け声のもとSLが発するというサプライズもあり、



担当していた青少年委員も楽しく過ごしました。

一円玉アートでは、事業部が作成した作品に皆様の善意の一円玉が投入され、見事に一日で完成し、一〇、六三五円の募金が集まりました。ご協力いただき心より感謝申し上げます。この募金は足立区社会福祉協議会に寄付をさせていただきます。

ウォーターコインは、水が満杯の水槽の中に置いた皿の中にコインを入れる遊びです。見た目以上に難しく、なかなか入れることができませんが、二枚続けて難なく入れる子ども現れるなど、ため息と歓声に包まれていました。



どのブースも子供たちの笑顔に溢れ、それにつられて一緒に来ている方々にも笑顔がいつぱいのイベントになりました。このイベントから笑顔が足立区全体に広がり、より住みやすい足立区になっていくだろうと明るい気持ちで終わることができました。

「コズミックカレッジ」

子供たちに宇宙を体験してもらおう

広報部 若色 昭夫

第一ブロックの千寿小学校では二〇一二年からJAXA(宇宙航空研究開発機構)の協力のもと「コズミックカレッジ(親子で楽しむ科学教室)」を年一回開催しています。

講師は宇宙教育リーダーの私と千寿小学校保護者OBが務め、今年度からは十月十三日に千寿常東小学校、十一月三日に第一中学校、十一月二十三日に千寿小学校にて開催しました。

子供たちには、宇宙・ロケット・プログラミングそれぞれのコンテンツで理科と科学に親しんでもらいました。



千寿常東小学校でかさ袋ロケット打ち上げ。児童と保護者で飛び方を工夫しました。



第一中学校でのプログラミング実習。コミュニケーション能力の訓練、生徒によるプログラミングシュミレーション、ボール型ロボットを使ったプログラミングを実践。



千寿小学校では、低学年の子供たちには惑星探査機になってもらう『太陽系の旅』、高学年はボタン式ロボットを使ったプログラミングを実施。

平成30年度 区立学校周年記念式典実施校

実施日	学校名	周年数
5月26日	弘道小学校	140
10月20日	保木間小学校	60
10月20日	六木小学校	40
11月3日	東加平小学校	50
11月17日	梅島小学校	130
11月17日	千寿第八小学校	80
11月17日	谷中中学校	40
11月23日	花保中学校	40
12月1日	鹿浜西小学校	50

東京都教育委員会感謝状

十一月三日、東京都教育の日に長期間にわたり継続して学校活動等の支援を続けている団体・個人に対して、足立区では左記の団体に感謝状が贈呈されました。

学校教育活動支援部門

・千寿常東小学校図書館ボランティア
・西保木間小学校 あいさつ運動隊

足立区教育委員会感謝状

一月二十九日、平成十九年度、二十年度に開設した左記小学校の「あだち放課後子ども教室」に感謝状が贈呈されました。

【平成十九年度開設】高野・中川・舎人第一上沼田(現鹿浜五色桜・千寿双葉本木東(現本木))

【平成二十年度開設】鹿浜第一・弥生西新井第一・辰沼・竹の塚・西伊興・興本栗島・梅島第二・千寿常東・青井・栗原北弘道・中島根・鹿浜(現鹿浜五色桜)六木・扇・花保・千寿・東伊興(開設順)

研修部の活動

研修部副部長 古川 美奈子

今年度も残りわずかとなりました。研修部では「新任研修」「日帰り研修」「全体研修」と開催してまいりました。

「新任研修」では、『子供たちの成長と足立の教育について』を定野教育長より講演をいただきました。「肯定感」「考える力」の大切さを改めて考えさせられました。

「日帰り研修」では、足立区日光林間学園を見学し、子供たちの施設での1日の過ごし方や楽しそうな様子等の話を聞くことが出来ました。

2月には、小池教育委員を講師にお迎えして「全体研修」を行いました。

各研修後は、その都度アンケートを取りまとめ、良かった点・改善すべき点等を話し合い、活動に役立てております。

青少年委員として今後の活動の糧となるよう研修部一丸となり取り組んでまいります。

事業部の活動

事業部長 原田 勉

事業部では、青少年健全育成団体親睦ソフトボール大会の開催（毎年6月開催）、年中行事を大切にする取り組み、あだち区民まつり（A-Festa）にてイベントの運営等を主な事業として活動しております。

今年のA-Festaは、10月6日・7日の2日間を予定しておりましたが、台風の影響により2日目の7日（日）が中止となり、6日（土）の単日開催となりました。しかしながら秋晴れの下、数多くの子供たちが、ミニSL・ウォーターコイン・1円玉アートを楽しんでくれました。また、今年は新たに1円玉アートのパネル5点を全て事業部員で作画&制作いたしました。



1円玉アート制作風景

足立区ビーチボールバレー発足30周年記念親睦大会

足立区で生まれたビーチボールバレーが30周年を迎えました。それを記念して、12月6日、足立区総合スポーツセンターにて大会が開催されました。

区議会議員・教育委員会・小中学校長会・小中PTA連合会・少連協・スポーツ推進委員会・地域総合型クラブなど27チームが5ブロックに分かれて対戦をしました。青少年委員会からも2チームが出場し、親睦を深めました。



11月14日足立区社会福祉協議会へ1円玉アート募金の寄付金贈呈

編集後記

広報部副部長 川下 勝利

年度ごとに二回発行している「だより第六十六号」が完成いたしました。青少年委員会の活動を分かりやすく皆さんにお伝えできるよう、部会で試行錯誤を繰り返して発行に至っています。即時性ということでは、ホームページに譲ることになります。内容の深さや読みやすさは広報紙の方が勝っていると思います。今号では、広報部が独自に、地域で活動を始めた「グランファミリア」の取材記事を掲載いたしました。原稿をいただき、校正が主な仕事になっていく広報部活動から、話題をおって町へ出かける記者の働きが新鮮に思えてきます。青少年委員としての任期も折り返し地点を過ぎようとしています。今後も、活動する広報部として紙面作りを心掛けてまいります。